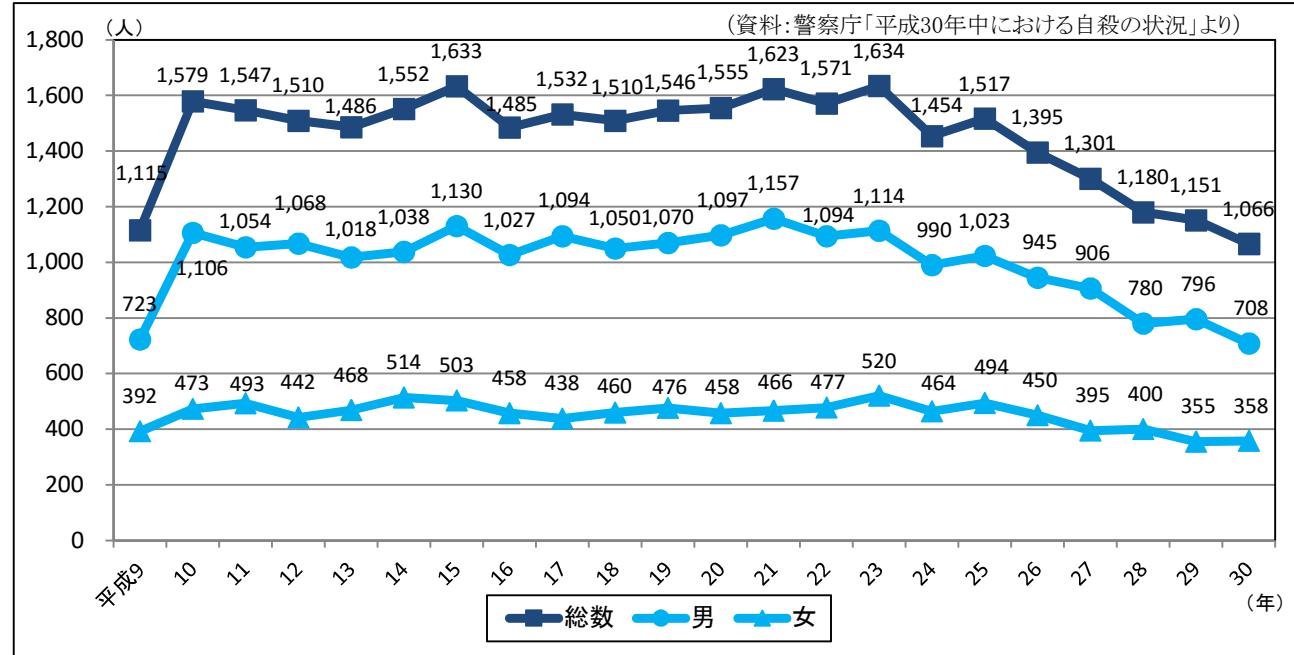


平成30年 愛知県の自殺の状況

1 自殺者数の年次推移(愛知県・全国)

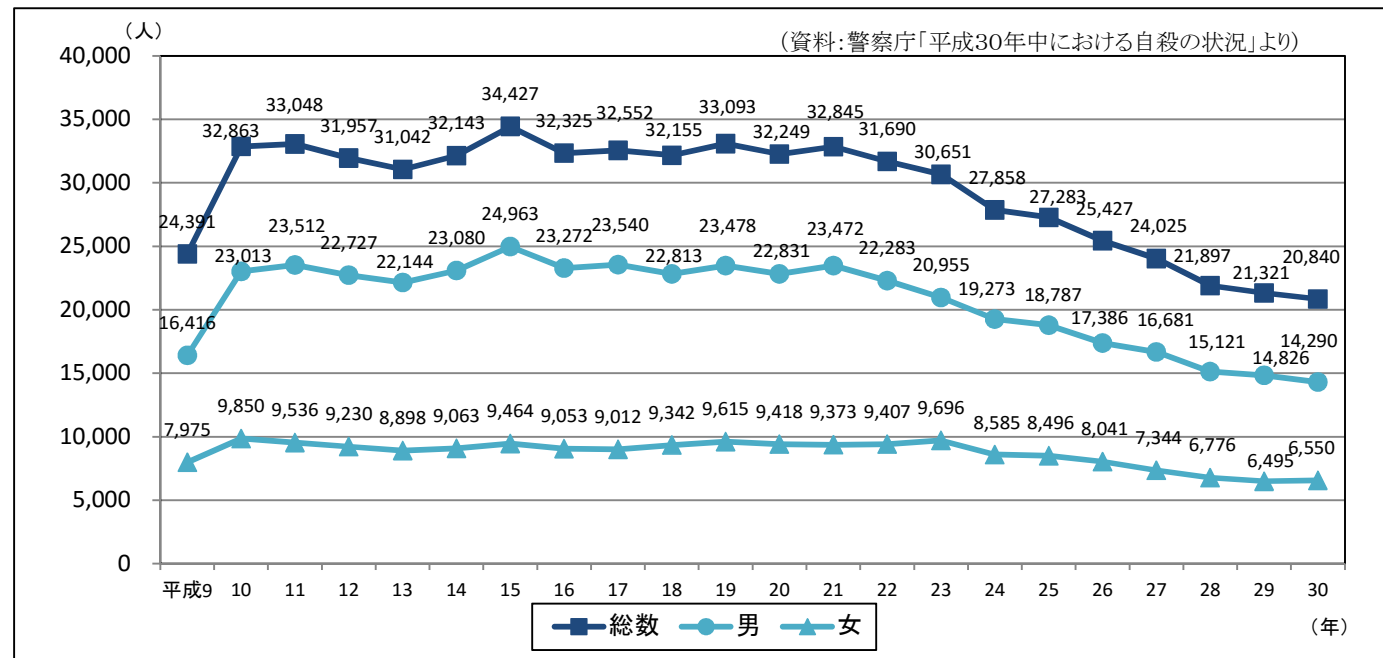
【愛知県】

- 愛知県の平成30年の自殺者数は1,066人で前年(1,151人)より85人(7.4%)減少した。
- 性別では男性が708人(前年比:△88人、11.1%減)、全体の66.4%、女性が358人(対前年比:+3人、0.1%増)で全体の33.6%となった。
- 自殺者数が大幅に増加した平成10年以降最も少ない。



【全国】

- 全国の平成30年の自殺者数は20,840人で前年(21,321人)より481人(2.3%)減少した。
- 平成22年以降9年連続で減少した。
- 性別では男性が14,290人(前年比:△536人、3.6%減)、全体の68.6%、女性が6,550人(対前年比:+55人、1.0%増)で全体の31.4%となった。



自殺者数の年次推移(愛知県・全国)

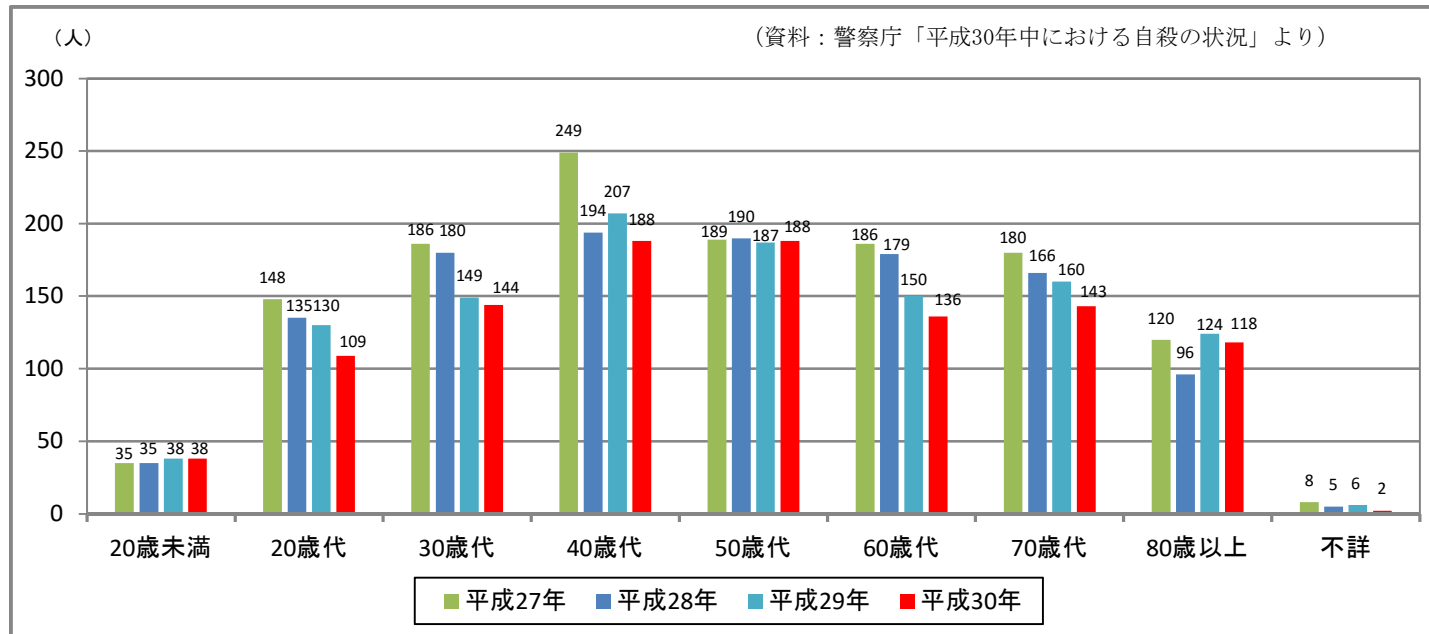
	警察庁「自殺の概要資料」				厚生労働省「人口動態統計」			
	自殺者数(人)		自殺死亡率(人口10万対)		自殺者数(人)		自殺死亡率(人口10万対)	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
平成9年	1,115	24,391			1,060	23,494	15.5	18.8
平成10年	1,579	32,863			1,451	31,755	21.1	25.4
平成11年	1,547	33,048			1,474	31,413	21.4	25.0
平成12年	1,510	31,957			1,444	30,251	20.8	24.1
平成13年	1,486	31,042			1,418	29,375	20.3	23.3
平成14年	1,552	32,143			1,432	29,949	20.5	23.8
平成15年	1,633	34,427			1,566	32,109	22.3	25.5
平成16年	1,485	32,325			1,432	30,247	20.3	24.0
平成17年	1,532	32,552			1,466	30,553	20.6	24.2
平成18年	1,510	32,155	20.7	25.2	1,455	29,921	20.4	23.7
平成19年	1,546	33,093	21.0	25.9	1,415	30,827	19.7	24.4
平成20年	1,555	32,249	21.0	25.3	1,441	30,229	20.0	24.0
平成21年	1,623	32,845	21.9	25.8	1,512	30,707	20.9	24.4
平成22年	1,571	31,690	21.2	24.9	1,434	29,554	19.8	23.4
平成23年	1,634	30,651	22.0	24.0	1,481	28,896	20.4	22.9
平成24年	1,454	27,858	19.6	21.8	1,332	26,433	18.3	21.0
平成25年	1,517	27,283	20.4	21.4	1,389	26,063	19.1	20.7
平成26年	1,395	25,427	18.7	20.0	1,290	24,417	17.7	19.5
平成27年	1,301	24,025	17.5	18.9	1,172	23,152	16.0	18.5
平成28年	1,180	21,897	15.7	17.3	1,055	21,017	14.4	16.8
平成29年	1,151	21,321	15.3	16.8	1,054	20,465	14.4	16.4
平成30年 (人口動態統計については暫定値)	1,066	20,840	14.2	16.3	1,004	20,032	13.7	16.1

○人口動態統計と自殺の概要との違いについて

区分	警察庁「自殺の概要資料」	厚生労働省「人口動態統計」
対象	総人口(外国人を含む)	国内日本人のみ
計上時点	自殺死体発見地ごと	自殺死亡者の住所地ごと
計上方法	死体発見時に処理をした警察官が作成した自殺統計原票を基に作成して計上している。	死体検案を実施した医師が作成の死亡診断書若しくは死体検案書から調査票を作成して計上している。
発表	平成21年1月より毎月公表	毎年6月に前年の概数を公表。確定数は9月公表

2 平成27～30年 年代別自殺者数(愛知県)

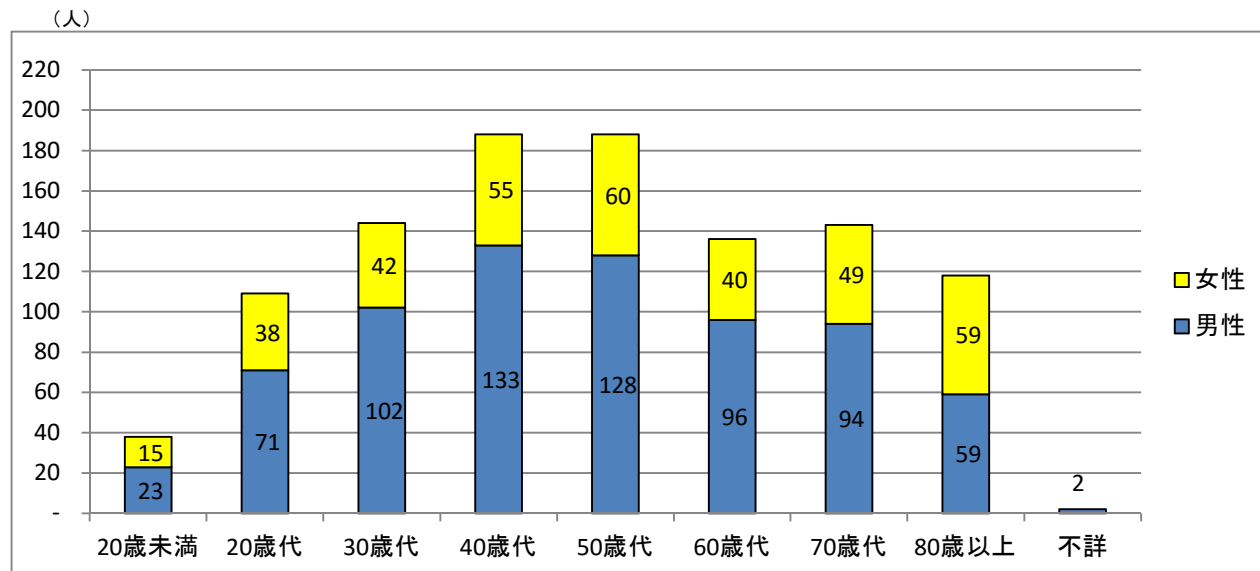
- 40歳代、50歳代(188人)が最も多く、次いで30歳代(144人)、70歳代(143人)となっている。
- 前年と比べて、20歳代が21人(16%)減少、40歳代が19人(9%)減少している。



3 平成30年の自殺者数の性別・年代別内訳(愛知県)

資料：「警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計」

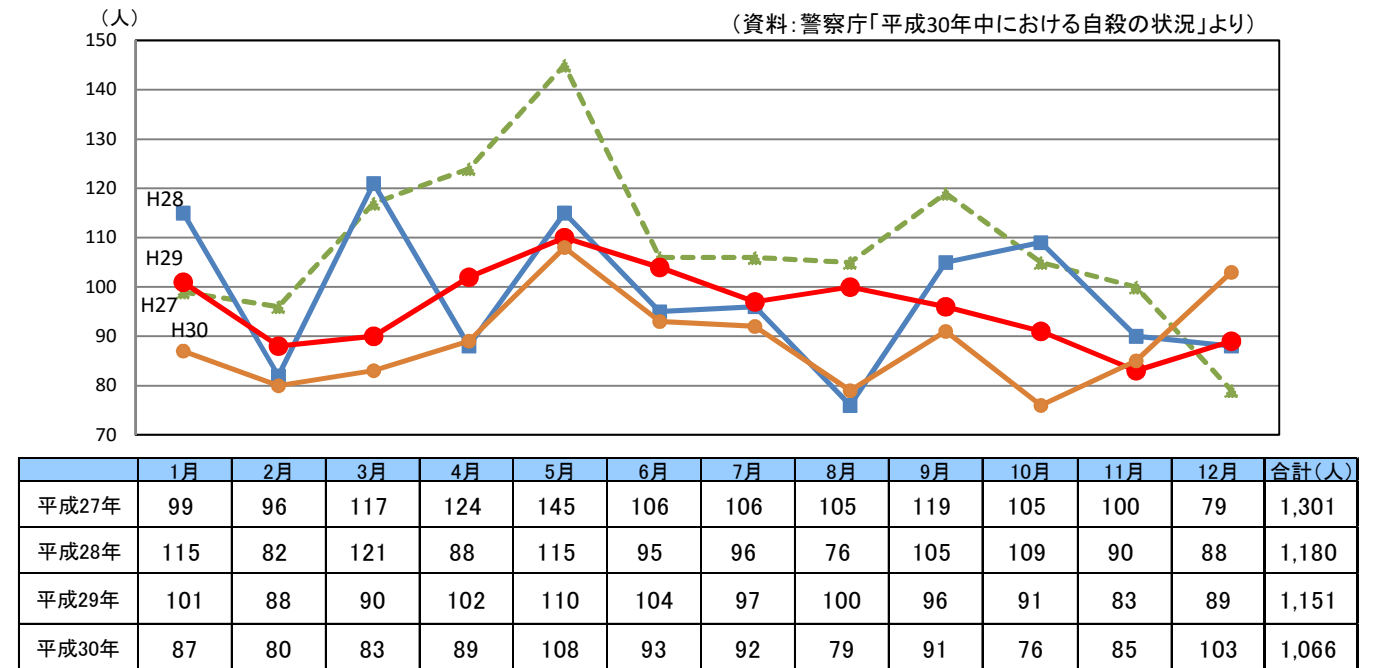
- 平成30年は、男性では40歳代(133人)が最も多く、女性は50歳代(60人)が最も多い。



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不詳	合計
男性	23	71	102	133	128	96	94	59	2	708
女性	15	38	42	55	60	40	49	59	-	358
合計	38	109	144	188	188	136	143	118	2	1,066

4 平成27～30年の自殺者数の月別推移(愛知県)

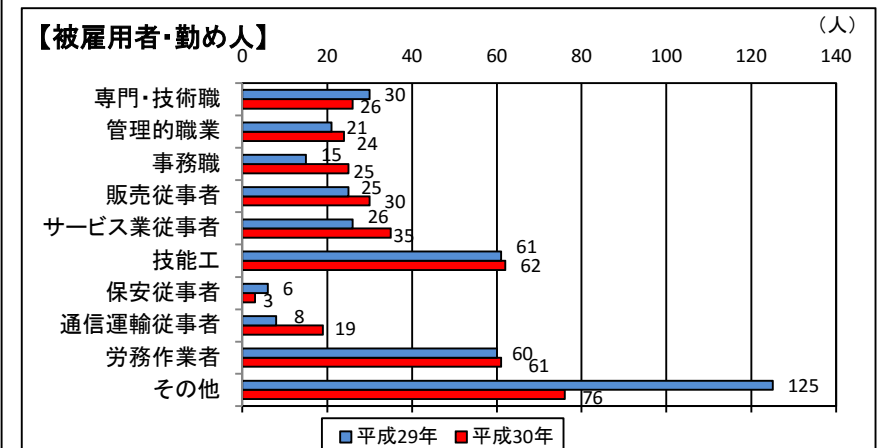
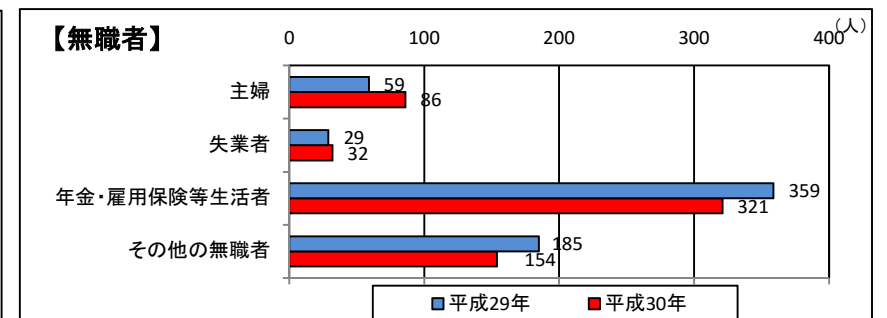
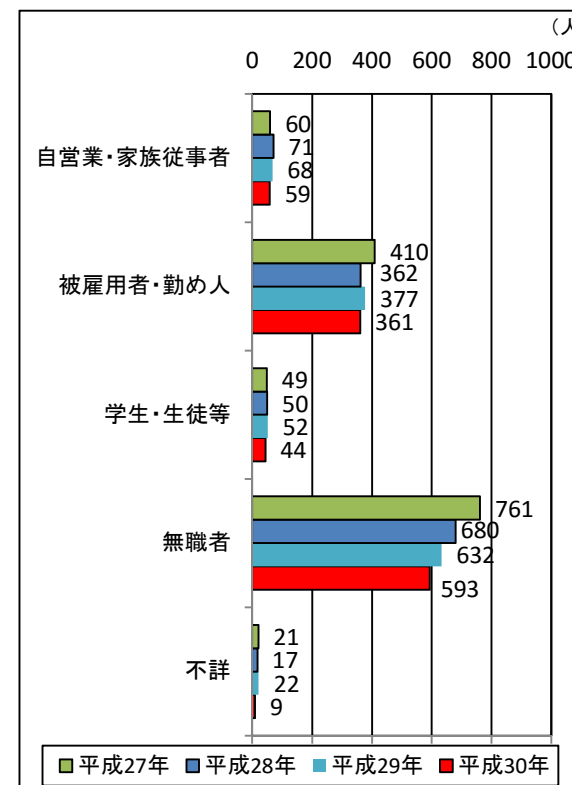
- ※平成21年度より、警察庁では毎月自殺者数を公表している。
- 平成30年は5月が最も多く、次いで12月となっている。



5 職業別自殺者数(愛知県)

資料：「警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計」

- 平成30年は無職者(593人)が最も多く、次いで被雇用者・勤め人(361人)、自営業・家族従事者(59人)であり、前年と同順位である。
- 無職者の中では、その他の無職者を除くと、年金・雇用保険等生活者(321人)が最も多く、次いで、主婦(86人)、失業者(32人)となっている。
- 被雇用者・勤め人の中では、技能工(62人)が最も多く、次いで、労務作業(61人)となっている。



6 原因・動機別自殺者数(愛知県)

資料:「警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計」

※ 平成19年より、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としたため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者とは一致しない場合あり。

(1) 原因・動機特定者数

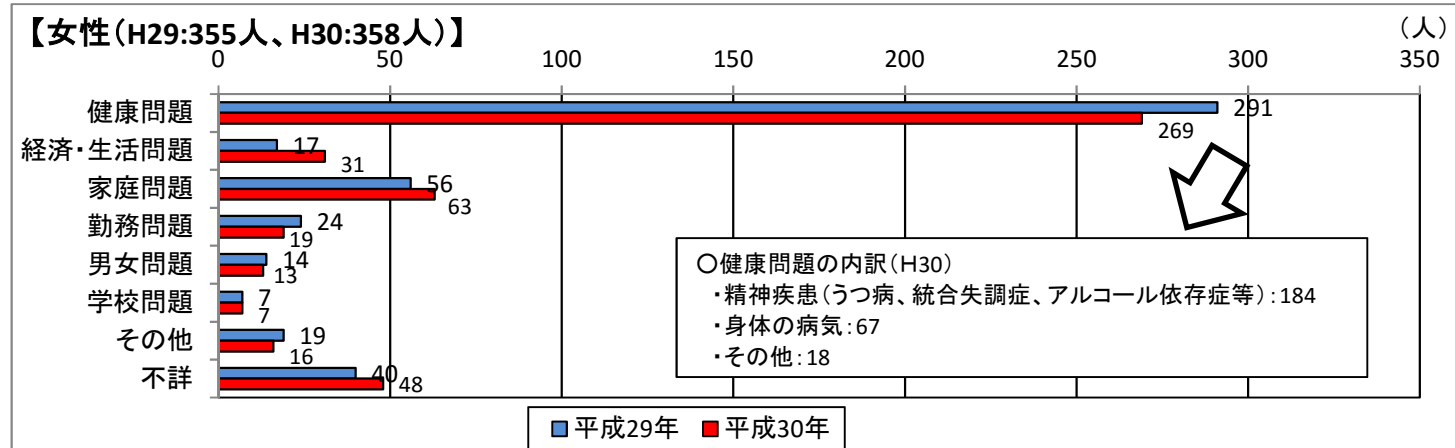
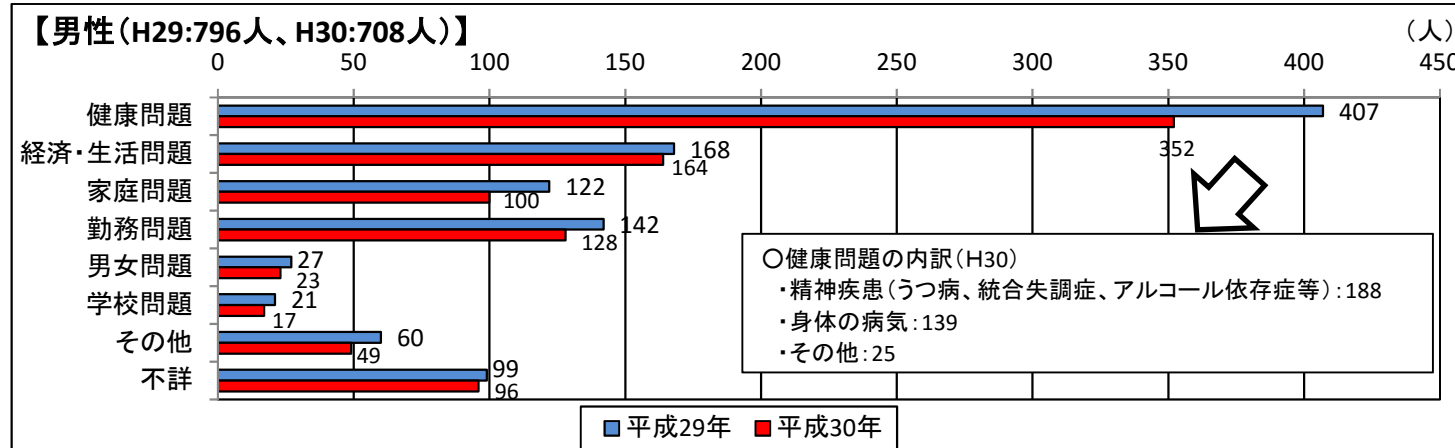
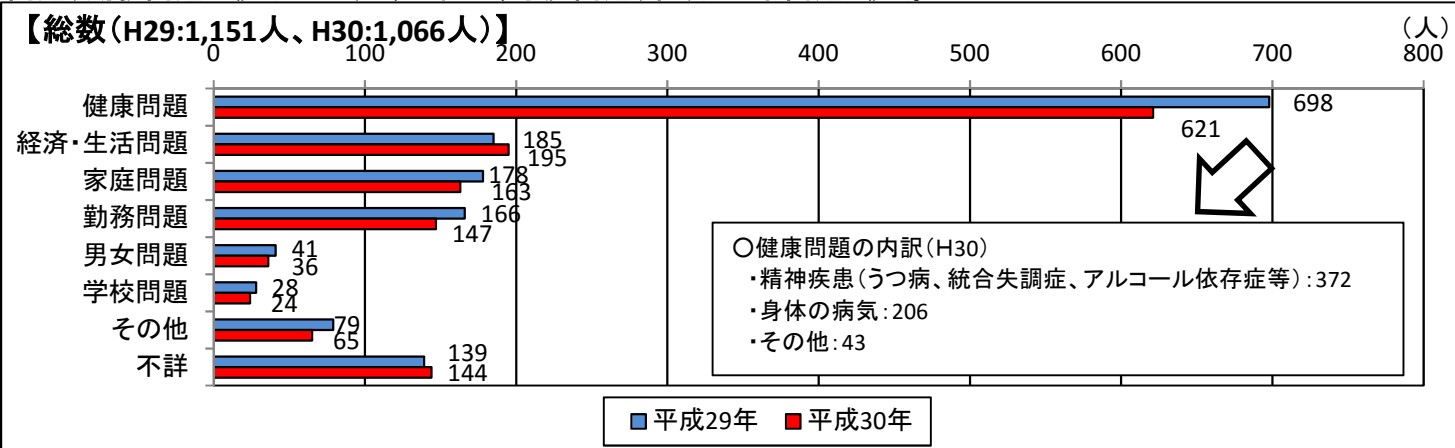
区分	原因・動機特定者	原因・動機不特定者	総数
平成27年	実数 1,111人 構成比 85.4%	190人 14.6%	1,301人 100.0%
平成28年	実数 1,006人 構成比 85.3%	174人 14.7%	1,180人 100.0%
平成29年	実数 1,012人 構成比 87.9%	139人 12.1%	1,151人 100.0%
平成30年	実数 922人 構成比 86.5%	144人 13.5%	1,066人 100.0%

(2) 原因・動機別自殺者数(総数、男女別)

○原因動機別は、大きく7項目(家庭問題、健康問題、経済・生活問題、勤務問題、男女問題、学校問題、その他)に分類されている。

○健康問題(621人)が最も多く挙げられ、次いで経済・生活問題(195人)、家庭問題(163人)となっており、昨年と同順位である。

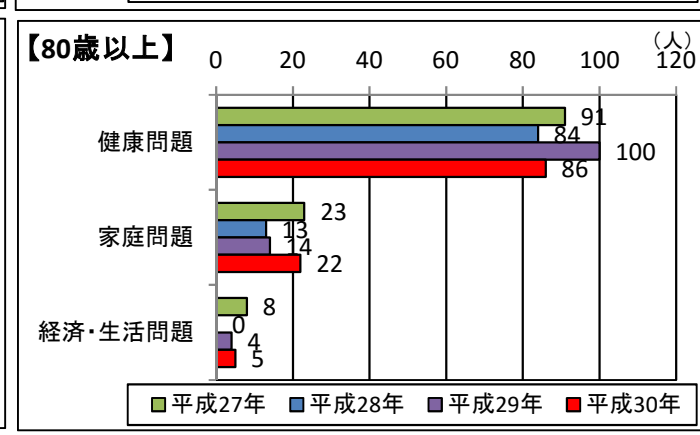
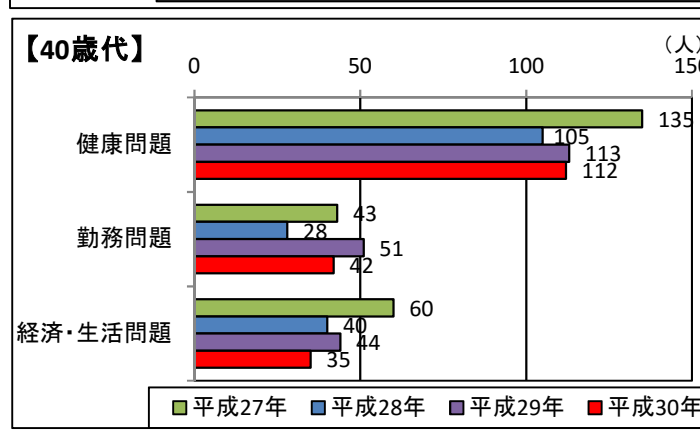
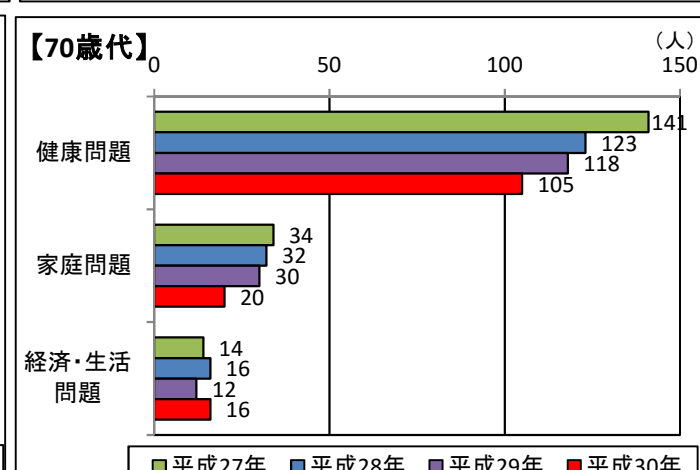
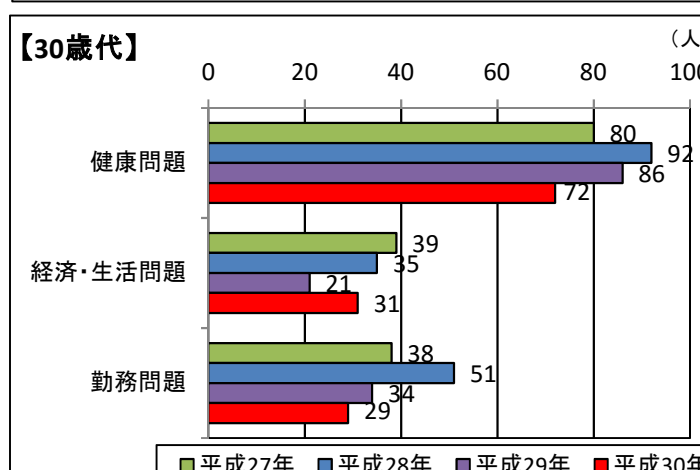
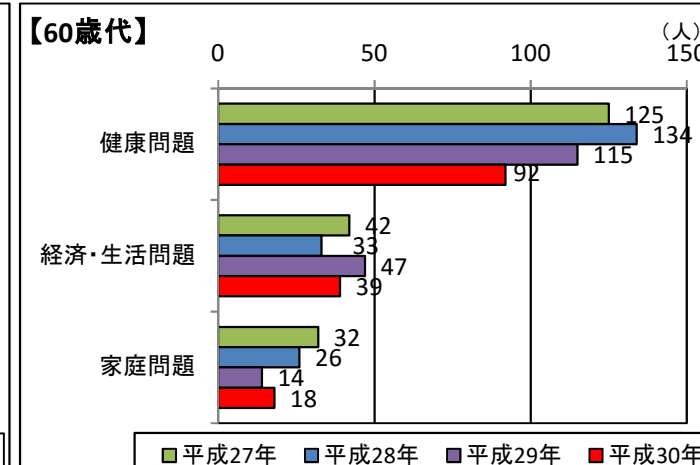
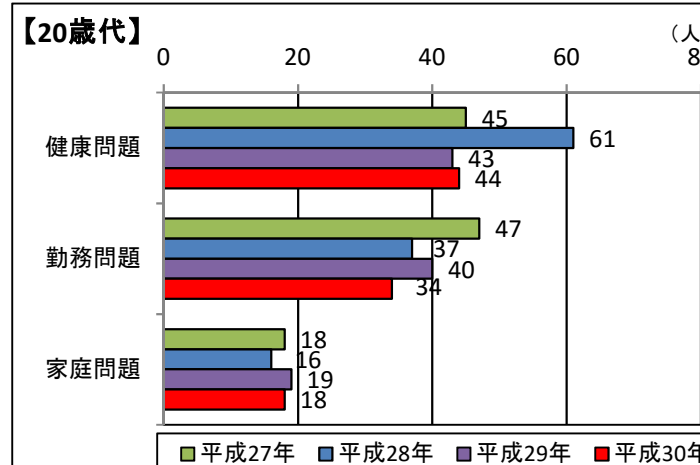
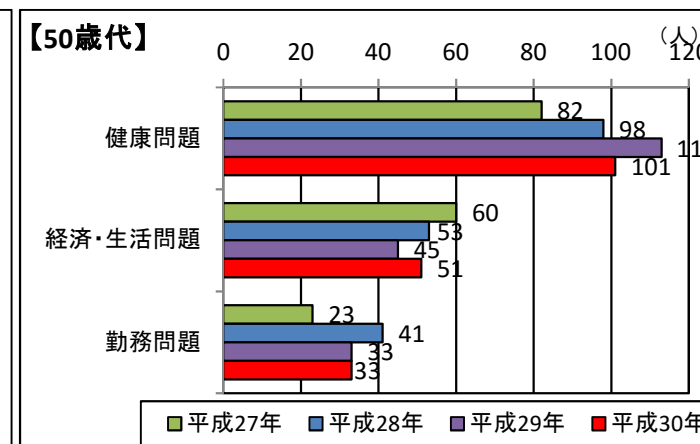
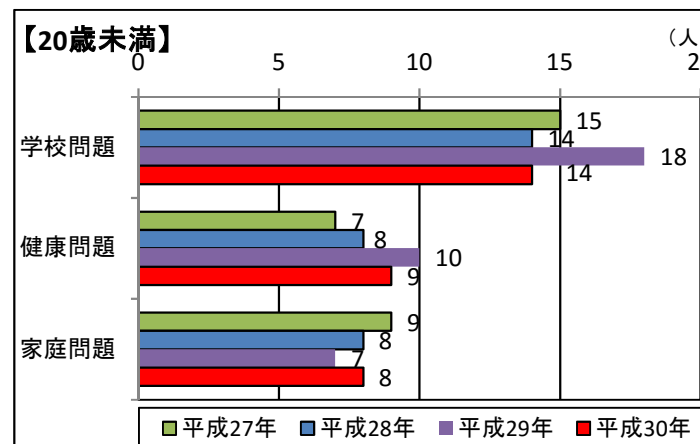
○男女別に見ると、双方とも、最も多く挙げられているのが健康問題となっている。ただ、男性の場合は以下、経済・生活問題、勤務問題が続くのに対し、女性は、家庭問題、経済・生活問題と続く。



7 年代別自殺者数の原因・動機別内訳(愛知県)

資料:「警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計」

○平成30年は40歳代の健康問題(112人)が最も多く、次いで70歳代(105人)、50歳代(101人)の健康問題が多い。
 ○平成27年から30年にかけて最も減少したのは70歳代の健康問題(36人減)であるが、逆に最も増加したのは50歳代の健康問題(19人増)となっている。



8 健康問題を原因・動機とした自殺者数について(愛知県)

資料:「警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計」

○各世代において特に顕著な動機となっている健康問題について、世代間・男女別で見ると年を経る毎に身体の病気の占める割合が増加傾向にあるが、特に、病気の悩み・影響(うつ病)の占める割合は、20代から50代の世代に高く見られる。

